

12 親子体験「いのちの教室」

【き】 親の「学び」の必要性を感じて

存亡の危機にある播磨町子育て学習センターで実施しているような、親の学習支援に取り組むため、平成16年に、子育て学習センターの元両親教育インストラクターを中心に、同センターのボランティアや利用者OBが集まりました。

【概】 「いのちの教室」の開催

平成16年8月23日、播磨町の中央公民館大ホール他で、いのちの大切さを知ってもらう「いのちの教室」を開催しました。

午前中は幼児から小学校低学年を対象にした人形劇や新生児人形抱っこ、お産のしくみの勉強などを行いました。

午後からは、マナ助産院院長の永原郁子氏を講師に、小学校高学年以上を対象に、命の大切さについて講演を行っていただきました。

【成】 地域の幼稚園や小学校が授業で取り入れてくれました

教室に参加した多くのご両親から、学校や園でも企画してほしいと行っていただきました。そこで、寄り添う会のメンバーと、PTA役員を含む教室に参加した親たちが、播磨町立蓮池小学校・播磨小学校・播磨幼稚園に働きかけ、学校の授業に「いのちの教室」が取り入れられました。

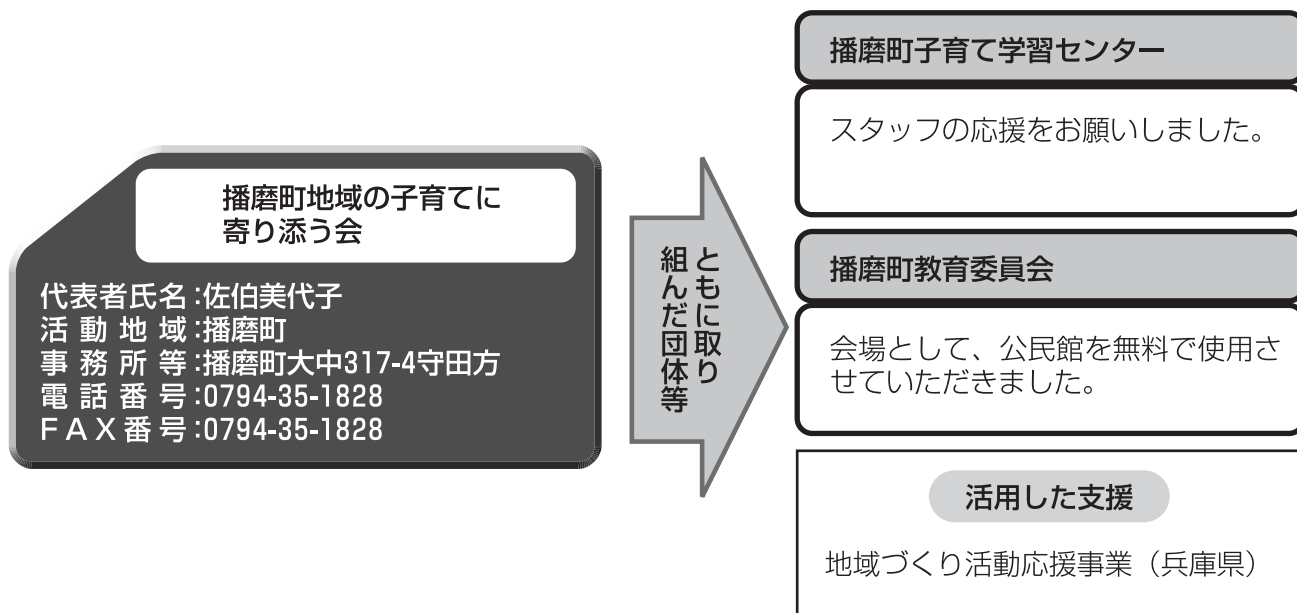
【夢】 それぞれの教育現場で「いのちの教室」を開催したい

実績を重ねて、中学校でも高校でも、年齢に合った「いのちの教室」を開催したいと考えています。また、悩んでいる親子が私たちに寄り添ってほしいときに、その親子に応じた寄り添い方をしていきたいと思います。

子育て学習センターは町の方針で平成18年度に子育て支援センターと一体化されますが、私たち寄り添う会が親の学びの大切さを伝えていきたいと考えています。



教室風景



播磨町地域の子育てに
寄り添う会

代表者氏名：佐伯美代子
活動地域：播磨町
事務所等：播磨町大中317-4守田方
電話番号：0794-35-1828
FAX番号：0794-35-1828

組んだ
団体等

播磨町子育て学習センター

スタッフの応援をお願いしました。

播磨町教育委員会

会場として、公民館を無料で使用させていただきます。

活用した支援

地域づくり活動応援事業（兵庫県）



ボランティアを通じて得た支援者たち

活動を通じて、人脈がどんどん広がっていきました。永原さんをはじめとする、会の母体となった子育て学習センターで講師をされていた方やスタッフの方たち。いろいろな地域の活動や、講座などに参加して知り合えた嬉野台生涯学習センターのスタッフの皆さんや、親教育関係の活動をされている皆さん。

これら多くの人たちに支えられ、貴重なアドバイスをいただきながら、活動に取り組んでいます。



いのちの大切さを歌で伝えました

いのちの大切さを子供たちにも分かりやすく伝えるために、講師の永原さんが作詞・作曲されたテーマソングを活用しました（中心フレーズ抜粋）。

たいせつに、たいせつに、たった一つの、みんなのいのち。
にここにこえがおでたすけあう、それがだいじなことだよ。



教室風景②



教室風景③

求ム!

私たちは「あい（愛、会、相、愛）」をテーマに活動しています。会員を募集しています。主に事業費の応援をしてくださる「足長おじさん」的な方。入会金1,000円、年会費3,000円です。1日10円、地域の子育てのために、善意をいただけませんか。詳しくは事務局までご連絡ください。

読者の皆さんへのメッセージ

兵庫県教育委員会は、平成2年に「両親教育インストラクター」を核にして各地に子育て学習センターを設置しました。今、そのような親の学習場所は子育てサロン化した集まりに押され、なくなりつつあります。子育ての大切さを伝える親の学びの場が復活するよう、各地域で声をあげてください。